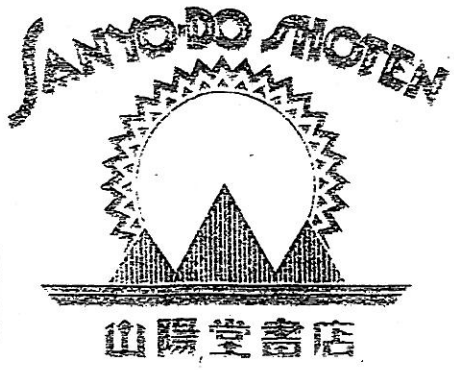


山陽堂だより 9 五月 (旧暦5月)

2010年5月



耕作を意味する古語「サ」から稲作の月として「さつき」に当た。'皇'には「神に捧げる稲」の意味がある。

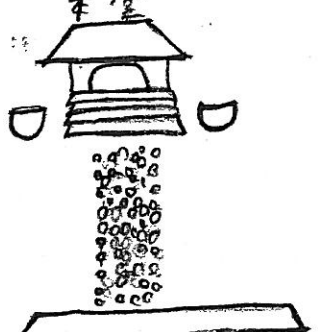


1945年5月25日 昭和20年

— 火の海だった表参道 —

5月25日は65年前の太平洋戦争で、青山・表参道をふくむ山の手一帯が空襲を受け焼土と化し、多くの方が犠牲に。た。た。日。です。戦後昭和40年までは、現在のみがほ銀行横で毎年善光寺さんによる法要がおこなわれていました。

その後は、善光寺さんが犠牲者の多かった場所の土をもちかえり、



「戦災殉難者諸精霊供養塔」を昭和41年5月25日に建てました。本堂ではこの日、毎年欠かさず法要が行われています。法要に参列できない方のために左記の供養塔の前にお参りかできようお線香が準備されています。

戦後60年の2005年位から法要に参列する方が、少しづつ増えてきました。それまでひとり、ふたりという時もあったようですが、昨年は30人ほどでした。

法要の後のお茶の会で77才の男の方が「はやくはきょう、この空襲で行方不明のままの母と姉をさがしにきました」と話していました。

仁王門
善光寺

心が空気がありませう。至原宿↑ 表参道 龍通り 山陽堂

今月の句
青蛙おのちも
のりてこか
季語 青蛙(夏)
芥川 龍之介(1892~1927)
作者は仏の作家川口松太郎の「とひかけのついでに御用心」という一節をこの時思い出してエッセイの序にこの句を書いたようです。



新刊

戦後65年の今年、朝日新聞で山の寺大空襲の
ことか連載されたり、5月25日(火)NHK朝の「おほ
や日本」全国ニュース、夕方の首都圏ニュースで放映され
ます。



山陽堂はこの空襲のとき建物か金矢筋コンクリートで
頑丈だったことと、地下室に井戸かあったおかげで
焼け残りしました。入ってくる火の粉を水を口に含み
霧吹きのようにかけて消しました。窓に直接水をかけると温度差
でガラスか割れしてしまうからです。

金属の網の入った3x4mのガラスは
割れることなく壁から守ってくれました。

戦争によって青山表参道はすか命と変わりました。
明治42年到现在の代々木公園一帯からNHK放送センター
(NHK)渋谷区役所、代々木競技場にかけての広大な土地に
陸軍の軍事練習場「代々木練兵場」かありました。表参道は
兵隊さんたちの行進の道でした。この代々木練兵場か敗戦
後には、アメリカの将校とその家族か住む「ワシントンハイム」
日本人立ち入り禁止区域「日本の中のアメリカ」へと変わります。
そして1963年東京オリンピック前に返還されオリンピックの
選手村に作り、現在の代々木公園等にかわっていきましました。

店内では地下の井戸水を
バケツリレーしてのんびり火を消したり。

山陽堂かこの青山の地で本屋をほじめて120年。
戦争で昔からのお客様かすか命とこの地を離れていつ
しまいました。けれども今でもホッリホッリとですか
戦前のお客様か山陽堂に寄ってくれます。先月は、80年前
の99才になるお客様に会いにいつきました。またこの話は
いつか書かせてもらいたいと思ひます。

今月おすすめの本



- 表参道か燃えた日 900円
—山の寺大空襲 体験記—
- 「ワシントンハイム」 1995円
秋尾 沙予子 著 新澤月社
地理的空間を自由に歴史的時間で
交錯させた異色のノンフィクション作品。
原宿・表参道界隈昔のこと知りませんか?

〒107-0061
港区北青山3-5-22
TEL03-3401-1309
FAX03-3401-1358
e-mail sanyodo@bi.wakwak.com
営業時間
月~金
10時30分~19時30分
土10時30分~16時
休み 日・祝日